

金沢大学附属病院

住所	石川県金沢市宝町13-1
連絡先	076-265-2047
URL	http://pharmacy.w3.kanazawa-u.ac.jp/
病床機能	高度急性期
病床数	830床
勤務体系	8:30~17:00(休憩45分含む) 土日当直・夜勤有
報酬(給料)	就業規則等に基づき支給
薬剤師人数	61人 2025年8月現在



うちはこんな病院薬剤部です



- 新人採用試験は毎年4月～5月頃実施しています。
- 新人職員に対する5年間の教育プログラムでメキメキ成長！（金沢大学薬剤部スタンダード、KUPS）
- 地域中小病院・保険薬局との相互研修制度あり。
- 学位取得可能（医学博士）。
- 産休や育休制度あり。短時間勤務・子の看護休暇で子育てと両立しながら活躍する薬剤師も多数。
- 連続した夏季休暇の取得が可能です。積極的な特別有給休暇の取得を推奨されています。
- 薬剤部内セミナー、症例報告会、メーカー主催勉強会など様々な分野を幅広く学習できる環境。
- 全病棟に薬剤師が専任で配属。
- 積極的なチーム医療への参画（院内感染制御チーム・抗菌薬適正使用支援チーム、栄養サポートチーム、糖尿病療養チーム、緩和ケアチーム、精神科リエゾンチーム、褥瘡対策チーム、術後疼痛管理チーム、医療安全など）。
- 先端医療開発センターと連携し、薬剤部は治験薬管理を担うとともに、薬剤師がCRCとして同センターで活動。センターには薬剤師CRC・看護師CRC・検査技師CRCのほか、スタディマネジャー・データマネジャー・生物統計家など多職種が配置され、質の高い治験/臨床研究を推進。
- 全自動薬袋作成システム、散剤鑑査システム、内服薬および注射薬ピッキング装置等導入。
- 無菌環境下での抗悪性腫瘍注射薬や高カロリー輸液の混合調製、特殊製剤の調製。
- 施設認定（日本医療薬学会：医療薬学専門薬剤師、がん専門薬剤師、薬物療法専門薬剤師、地域薬学ケア専門薬剤師制度、日本臨床薬理学会：認定薬剤師制度、日本病院薬剤師会：プレイボイド報告施設、日本薬剤師研修センター：薬局・病院実務研修施設）

専門資格取得者数



(2025年8月現在)

多領域	日本医療薬学会 医療薬学指導薬剤師/4名・医療薬学専門薬剤師/9名・薬物療法指導薬剤師/1名・薬物療法専門薬剤師/1名、日本病院薬剤師会 病院薬学認定薬剤師/34名、日本薬剤師研修センター 認定薬剤師/14名
がん・緩和	日本医療薬学会 がん指導薬剤師/4名・がん専門薬剤師/7名、日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療専門薬剤師/1名・外来がん治療認定薬剤師/2名、日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師/3名、麻薬教育認定薬剤師/1名
感染症	日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師/1名・感染制御認定薬剤師/1名、日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師/6名
精神疾患	日本病院薬剤師会 精神科専門薬剤師/1名、日本精神薬学会 精神薬学会認定薬剤師/1名
栄養療法 内分泌・代謝 循環器疾患	日本栄養治療学会 栄養サポートチーム(NST)専門療法士/4名、日本糖尿病療養指導認定機構 日本糖尿病療養指導士/1名、日本循環器学会 心不全療法指導士/3名
臨床薬理・臨床試験	日本臨床薬理学会 指導薬剤師/2名・認定薬剤師/1名・認定CRC/3名、認定臨床研究専門職1名、日本臨床試験学会 がん臨床研究専門職/2名
実務実習	薬学教育協議会 実務実習指導薬剤師/15名
その他	日本医薬品情報学会 医薬品情報専門薬剤師/1名、日本医療情報学会 医療情報技師/1人、日本DMAT隊員/1人

レジデント型卒後教育プログラム 『金沢大学薬剤師スタンダード』

Kanazawa University Pharmacist Standard; KUPS

これからのあるべき医療体制下での本院薬剤部の将来ビジョンと薬剤師人材の基準

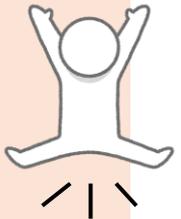
KUPSは、薬剤師の幅広い活動領域において、バランスがとれて優れた薬剤師の基準で、県内外からも高い評価を受け渴望される“**薬剤師ブランド**”です。

○卒後初期研修にあたる期間
(1～2年目)

- ・ 早期から病棟に出向き、病棟薬剤師のサポーターとして病棟活動を開始
- ・ 半年ごとに内科系・外科系病棟、外来化学療法室、先端医療開発センターなどをローテーション

○後期研修にあたる期間
(3～5年目)

- ・ 主担当として病棟や外来化学療法室の活動に従事
- ・ 医療現場の課題について臨床研究を実施
- ・ 地域病院への出向



プログラムは
5年間！



○プログラムの特徴

- ・ 教えることにより学ぶ屋根瓦方式
- ・ 身近な相談役（メンター）を配置
- ・ 多職種評価によるパフォーマンスの向上

○修了・認定要件

- ・ ルーブリックレベル5の達成
- ・ 症例サマ리를30件以上作成
- ・ 症例検討会において5回以上の報告
- ・ 学会・研修会での2回以上の発表

CERTIFIED

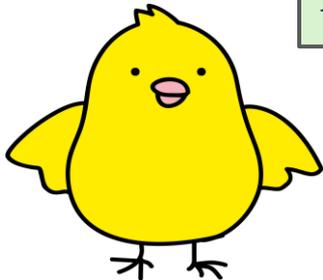
若手薬剤師からの声



各分野に専門資格を持つ先生がいらっしゃる環境に魅力を感じました。また、**教育プログラムがしっかりと整備されている点も決め手の一つでした。**プログラムを通じて、病棟や外来化学療法室など、さまざまな部署での業務を経験する中で、目指したい資格が見つかった際に、その分野のパイオニアが身近にいる環境は非常に心強いなど、日々実感しています。

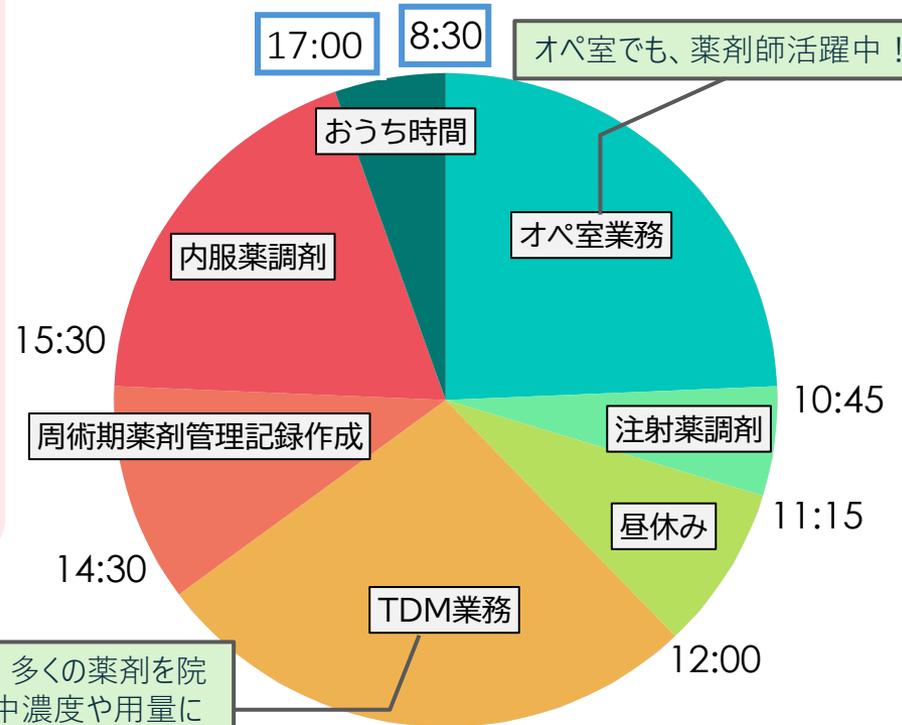
また、**主体的に学べる環境が整っていること**に加えて、BBQやソフトボール大会、マラソンやスノーボ合宿など、プライベートにも全力で取り組める点も魅力の一つです。さまざまなイベントを通じて先輩方と親睦を深めることができるため、アットホームで非常に働きやすい職場です。

免疫抑制剤や抗てんかん薬、抗微生物薬など、多くの薬剤を院内で測定しています。リアルタイムで主治医と血中濃度や用量についてディスカッションできるのは、うちの病院ならではかも！



2年目になると、調剤はメインスタッフとしてバリバリ活躍！
それに加えて、オペ室業務、更にはTDM業務まで経験しているんですね。
別の週では、病棟業務も経験中。毎日帰った頃にはハトハトだとか。日々、成長中！

ある日の仕事のスケジュール



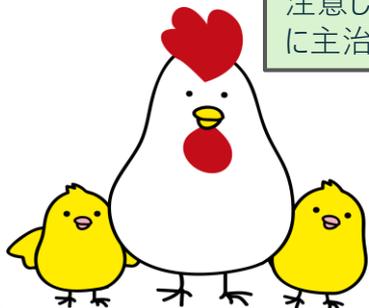
中堅薬剤師からの声



当院にはがんや感染など、幅広い分野において専門資格を有した薬剤師がたくさん在籍しています。日々の業務の中で、自分一人では解決が難しい症例に遭遇した時も、その分野の専門知識を持っている薬剤師にすぐに相談でき、そこで議論を深め、新たな知識を獲得することができます。薬剤師同士が互いに刺激を受け合い、切磋琢磨できる環境です。仕事の調整がしやすいので、プライベートでは年に数回、県外に舞台を観劇しに行くことがあります。1週間程度の長期休暇を取得することもできるため、海外旅行に行くこともできました。

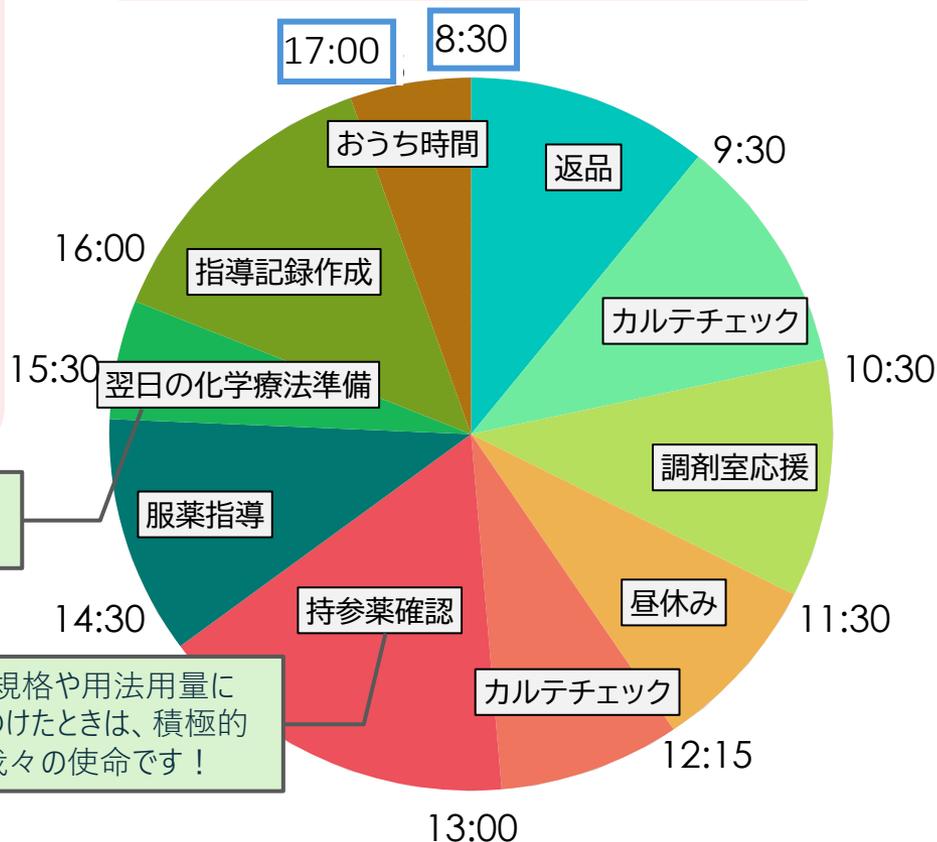
大学病院ならではの、最新の化学療法が盛りだくさん。困ったことがあったときに、すぐ傍にがん専門薬剤師がいるのは、心強い！

入院患者さんの数が多いときはちょっと大変。規格や用法用量に注意して鑑別しています。ポリファーマシーを見つけたときは、積極的に主治医に提案中！医薬品の適正使用は我々の使命です！



病棟主担当として活躍中の先輩。病棟での経験を生かして、栄養サポートチーム専門療養士の資格を取られたそうです。若手のひよこちゃんたちに、その背中を見せ、育てていくのも大切な仕事になっています。

ある日の仕事のスケジュール



治験部門薬剤師からの声



製薬会社やCROの開発モニターや、治験担当医師等と密に連絡を取りながら業務を行っています。

当日のすべての治験薬の払い出し内容に齟齬がないか再確認しています。治験薬の温度管理が適切になされているか確認しています。

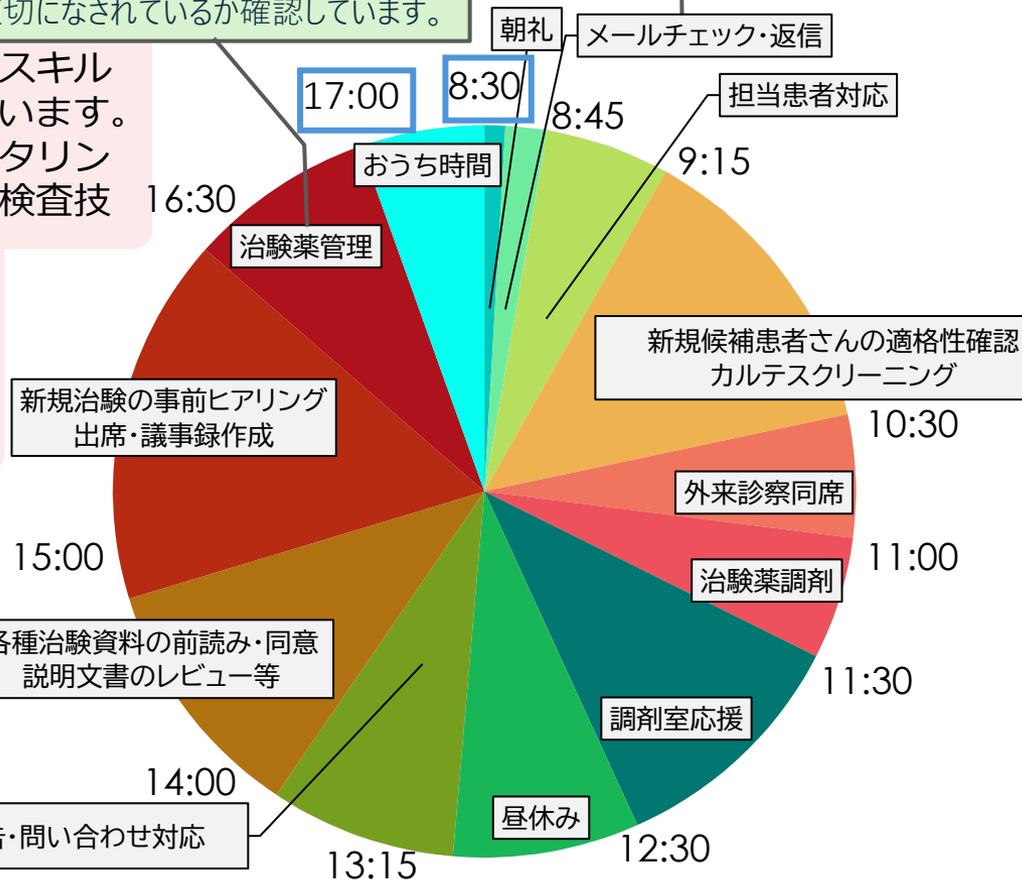
薬剤師CRCは、薬学的な視点と臨床研究支援スキルを活かし、治験の現場で重要な役割を担っています。治験薬管理や併用薬の確認、有害事象のモニタリングを通じて患者さんを支え、医師・看護師・検査技師など多職種と協働で治験を進めます。

担当した治験薬が承認され、添付文書や診療ガイドラインが改訂され標準治療が変わる瞬間に立ち会えるのは大きなやりがいの一つです。

さらに、院内の各部署と連携し治験を円滑に進める中で、治験全体を俯瞰して捉える力が培われるのもCRCならではの特徴です。**経験した治験や疾患への理解は自らの強みとなり、承認後の適正使用にも活かされます。**なにより、患者さんと継続的に関わり信頼関係を築けることもCRCの魅力であり、最新の知見を臨床に還元し、未来の患者さんに繋げられる仕事です。



自分のした仕事で、新しいお薬が承認されるための大切なデータとなって、添付文書の一文になるなんて、とってもロマンがありますね！



ある日の仕事のスケジュール

パパ薬剤師からの声



働き始めて十年、パパになりました。「働く時は働く、休む時は休む」。皆でメリハリつけて働こう！という雰囲気のおかげで、有給休暇や連休もとりやすく、世間では男性の育休取得がまだまだ浸透していないこの時代に、育児休暇を3か月ほど取らせて頂きました。「パパ業頑張れ！」と、快く送り出してくれた職場に感謝です。娘の成長を妻と一緒に喜ぶ、かけがえのない時間でした。

職場復帰後、帰りが遅い日は娘の顔を見られずに1日が終わってしまうことも。だから、定時ダッシュを目標に**全集中で仕事をこなす日々**。どうしても残ってしまった仕事は翌朝に片づけることにして、娘に会いに帰宅。娘を寝かしつけた後、妻と晩酌を楽しんだりして、仕事も家庭も充実した日々を過ごしています。

仕事もプライベートも、「いかに効率良く」「いかに楽しく」できるか、工夫しながら働いているパパ薬剤師。金大病院で長年働いてきたことで蓄積された経験とその知識量は、後輩のみならず、大先輩からも頼られるという太鼓判ぶり。働くパパ、カッコいいですね！



ロボット掃除機や乾燥機、食洗器など便利な家電を導入して、家事を時短！

洗濯もの取り込み・食器の片付け

5:30

出勤の準備

6:00

7:00

7:30

通勤

ある日のスケジュール

睡眠

仕事

23:00

余暇

洗濯・食器洗い

21:15

21:00

夕食+晩酌

20:00

お風呂

19:30

19:00

子供の寝かしつけ

退勤・買い物

18:00

子供と遊ぶ+筋トレ

17:00

食材宅配サービスを利用

夫婦の大切な時間

ママ薬剤師からの声

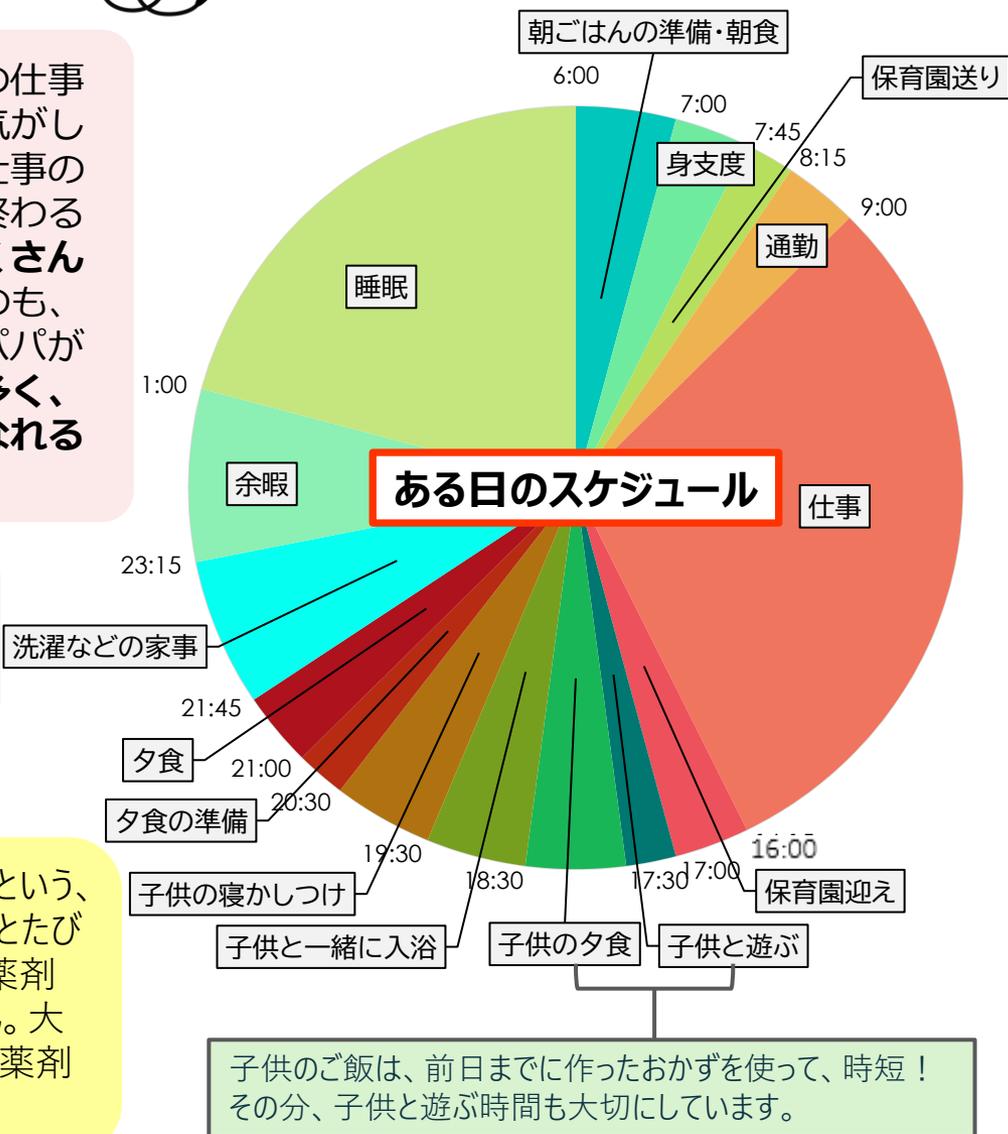


家族・同僚のサポート・理解があって、今の仕事と子育てをなんとか両立出来ているような気がします。毎日決まった時間に帰れるように、仕事の優先順位を考え、なるべく時間内に仕事が終わるように努力しています。**子育ての先輩がたくさんいる職場**で育児の色々な悩みを相談できるのも、この職場のいいところです。同世代のママパパが沢山いて、**目標をもって仕事をしてる方が多く、刺激を受け、私もそんなママさん薬剤師になれるよう、日々仕事に取り組んでいます。**



ママになってから一層、いつも患者さんを支えている“家族の思い”にも寄り添えるようになりました。

パパの帰りが夜遅いので、平日の退勤後はワンオペという、大忙しのママ薬剤師。目が回るような日々の中、ひとたび職場に来れば、子育てを一段落させた大先輩ママ薬剤師や、一緒に子育て奮闘中のママ薬剤師がたくさん。大きな安心感につながっているようです。母になっても、薬剤師として更なる高みを目指すママ、かっこいいです！



ハカセ薬剤師からの声



現場では、ガイドラインや添付文書に沿って治療を行っていても、予期せぬ副作用や薬物血中濃度のコントロール不良など、想定外の事態が起こることがあります。

そうした課題に対して、**研究という形で解決策を導く力は、今後ますます重要になります。**

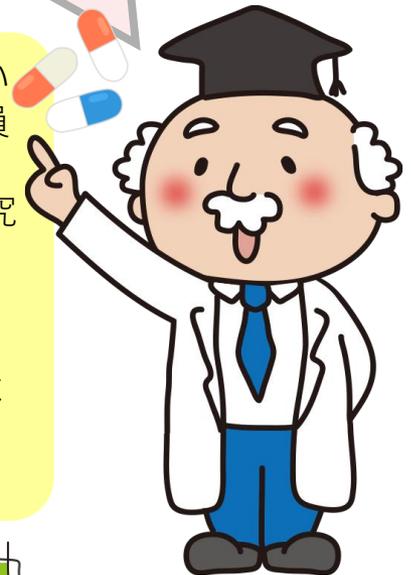
私は、実臨床で起こり得る添付文書を超えた事態に**科学的に向き合える薬剤師**を目指し、**現場と研究の双方を大切にしています**。研究によって得られた知見は、目の前の患者さんだけでなく、未来の患者さんにとっても確かな利益となります。

当院はこのような「臨床と研究の両立を頑張りたい」という姿勢を支える環境が整っており、**研究に関心を持つ方にとって、大きな学びと挑戦の場になると信じています。**

私は6年制の薬学部を卒業後、大学院に進学し博士号を取得してから入職しましたが、当院薬剤部では働きながら博士号取得に挑戦することも可能（医学博士）です。

日頃の業務で疑問に思ったことや、知りたいこと、解決したいことなどを研究テーマにしています。研究の着想から実際に手を動かすまでには、研究計画書の作成や倫理審査委員会への提出資料の準備、実験系の組み立て、費用の工面などなど、やるべきことが盛りだくさんで、正直何から手を付ければ良いのか分からない！そんな時、当薬剤部は、研究のプロである大学教員が身近にいて、求めれば常にアドバイスをもらえる環境であること、研究経験が豊富な薬剤師に気軽に相談できる環境のため、ひとりで抱え込む必要はありません。チームを組んで研究を行っている職員もいます。

毎年、各々の研究テーマを基に、研究費の申請・獲得にも挑戦しています。研究成果は学会で発表したり（各地で美味しいものを食べたり）、論文にまとめて投稿したりしています。詳しい研究業績は当薬剤部のHPをのぞいてみてください。





病院見学お待ちしております！

金沢大学附属病院 薬剤部

Kanazawa University Hospital Pharmacy